



五中だより

令和 8 年 2 月 2 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

頑張るときはいつも今

校長 伊藤 克行

先日、嬉しいことがありました。以前ご一緒したことのある時間講師の先生（授業を教えに来る先生）が地方で正規の教員になられたという話を聞いたのです。

この先生は、私が一緒にお仕事をした当時、40代だったと思います。小学生のお子さんがいらっしやいましたが、ようやくお子さんが自分で自分のことができるようになったので、ずっとやってみたかった先生の仕事を、授業だけを教える時間講師として、始めてみることにしたと聞いていました。

そんなある日、名門中学校から私のところに、1年間限定で、フルタイムで働く先生の求人情報が入りました。私は時間講師をしていた彼女には、たぶん難しいだろうと思いながらも、たまたま求人条件（指導教科）に合っていた彼女に声を掛けました。予想通りいったんはお断りされましたが、数日後、彼女が「主人も協力してくれると伝えてくれました」と私のところに話にきました。名門中学校でしたので簡単には合格とはいかないかもしれないことを伝えたくて、提出書類の作成を手伝うことにしました。

実際に行うことを想定した授業案を作成したのですが、私がアドバイスすると彼女はすぐに書きなおし、新しい案を作ってきました。その様子から、「もしかしたら」とは思っていましたが、彼女はなんと合格したのです。

その後、彼女とは一度も顔を合わすことがありませんでしたが、先日たまたまご主人と出くわし、ご主人の方から私に声をかけてくださり。奥様の話を聞かせてもらったのです。話によると私が紹介した1年間の中学校勤務の後、教員の面白さに気づいた彼女は地方の私立の先生になり、その傍ら、ある地域の公立学校採用試験に合格し、来年度から正規教員として勤務することになったということでした。さらにはこちらでお仕事をされていたご主人が退職し、彼女の勤務する地方で再就職することにしたこともお聞きしました。

素敵な話だとは思いませんか。いくつになっても「頑張るときはいつも今」なのだと私は思いました。そして「こうしたい」「こうなりたい」という強い思いは一見不可能に思えるようなことも実現させてしまうと改めて実感しました。まだこれから将来を決めていく皆さんにぜひ話したくなり学校だよりで紹介することにしました。皆さんには無限の可能性が 있습니다。ここぞと思う瞬間に出会えた時、「頑張るときはいつも今」ということを忘れないでくださいね。

♪生徒の活動のようす

○1学年スキー移動教室

1月29日から1月31日まで、1学年がスキー移動教室へ行きました。当日は若干天候が悪かったものの、講習を受け、自分の力にあったコースで滑りました。初心者の生徒でも3日間で滑れるようになります。生徒の吸収する力には毎回驚かされます。



♪学校の活動のご紹介

○ふれあいボランティア活動

ふれあいボランティア活動は、学校や地域でのボランティア活動によって社会貢献活動団体を応援する活動です。①ボランティア活動をする。②活動内容をふれあいボランティアパスポート（FVP）に記録する。③ふれあいボランティアパスポート（FVP）に書いてある社会貢献活動団体のなかで応援したい団体に○をつけて、活動を主催するさわやか青少年センター（SSC）に送る。これによって、SSCがその団体に一定額の寄付をするしくみになっています。

本校はこのふれあいボランティア活動に生徒会が中心となって参加して約5年になります。今年度は12月の学校だよりで紹介したP. O. K（Project Of Kogera）もこの活動にあたります。昨年度からはボランティアパスポートがデジタル化され、記録しやすくなったことで、より参加者が増えています。自分の活動が身近な人たちや日本や世界の人たち、環境の役に立っていると感じながら活動できることが、やりがいにプラスになっています。

➤ふれあいボランティアパスポートの紹介
（さわやか青少年センターWeb サイト）
https://www.ssc-npo.or.jp/?page_id=149



○教員が学び合う校内研究

本校では教員が授業を見て内容について協議することで指導力を磨く「校内研究」を行っています。今年度のテーマは『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善です。生徒が学習内容に関心を持ち、自ら学ぼうとするにはどのような授業がよいか、生徒同士が話し合いながら理解や考えを深めるには、どのような声掛けが必要か、といったどの教科にも共通する話題で毎回学んでいます。



理科、保健体育、道徳の授業を見て協議を行い、さらに外部の講師を招いて話を聞いています。加えて本校には特別支援教育の指導教諭がいるため、模範授業、公開授業を参観する機会も設けました。特別支援学級での指導は通常の学級でも生きるものが多く、学びの多い授業参観になっています。